



静岡市 いきもの 散策マップ

梶原山・帆掛山コース

むし

● ナミアゲハ



春から初秋まで市街地でもよく見られる大型のチョウです。幼虫はミカン科の植物を食べます。

● キアゲハ



はねを広げると10cmをこえる大型のチョウで、ナミアゲハより黄色みが強く、はねのつけ根が黒ずんでいます。山の頂上にも集まります。

● アオスジアゲハ



黒地のはねに水色の筋があり、とても速く飛ぶアゲハチョウの仲間です。幼虫はクスノキの葉を食べて育ちます。

● ナガサキアゲハ



10cmをこえる大型のチョウで、尾のような突起があります。ほかのアゲハチョウの仲間のよう、幼虫はミカンの仲間を食べます。

● ジャコウアゲハ



はねを広げると10cmくらいのやや大型のチョウで、堤防や林の周辺など開けたところで見られます。

● ツマグロヒョウモン(メス)



住宅の庭や公園のほか、山の頂上でよく見られます。幼虫はパンジーなどスミシレの仲間を食べます。

● ツマグロヒョウモン(オス)



住宅の庭や公園のほか、山の頂上でよく見られます。幼虫はパンジーなどスミシレの仲間を食べます。

● ミドリヒョウモン



6~8cmくらいのチョウで、低山地~山地の林のまわりなどで見られ、初夏に羽化し、真夏は眠り、秋に再び現れます。

● ツマキチョウ



小型のチョウで、オスでは白いはねの先が淡い色になります。林や畑のまわりにはいます。春にだけ現れます。

● ヒオドシチョウ



山地から平地まで広くすんでいます。成虫は6月頃発生し、暑い夏は眠って過ごし、越冬のち早春に目覚めて飛び出します。

● キマダラセセリ



2cmに満たないチョウで、林のまわりや草地などにすみ、よく花の蜜を吸いにきます。

● アオバセセリ



2~3cmくらいのチョウで、はねは、緑青色をしています。山地の林のまわりなどで、5~9月に見られます。花によく集まります。

● ヒカゲチョウ



5~6cmの薄茶色の地味なチョウで、雑木林にすみ樹液に集まります。成虫は5~10月に見られます。

● ヤマトシジミ



人家のまわりでもよく見られます。幼虫はカタハミを食べ、成虫は3~11月に見られます。

● サトクダマキモドキ



体長5~6cmくらいのキリギリスの仲間、木の上に陣を構えます。8~11月に見られます。

● ハラビロカマキリ



体長4~7cmカマキリの仲間、腹部が太めに見えます。前脚の基部に黄色の突起があります。

アクセス情報



【バスでのアクセス】
梶原山公園まで (JR草薙駅より)
 1. しずてつバス「草薙駅前」より「草薙瀬名新田線(常葉大学方面行)」に乗り。2. 「瀬名リンク西奈」にて下車(草薙駅より約10分)。3. 徒歩15分でハイキングコース入口。

一本松公園まで (JR清水駅より)
 1. しずてつバス清水駅前バスターミナル5番線より「北街道線(静岡駅前)」に乗り。2. 「大内観音入口」にて下車(清水駅より約15分)。3. 徒歩20分でハイキングコース入口。

緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番
- 警察 110番

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作: NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者: 静岡市清流の都創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年: 平成26年2月

とり・どうぶつ

● メジロ

全長12cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。

● ツバメ

全長17cmの小鳥で、繁殖のため、春に渡ってきます。「チュッピッ、チュッピッ、チュッピッ」などと鳴きます。

● エナガ

スズメより小さい鳥で、林や森などに住み、「チーチー、チリリ、ジュリリ」と鳴きます。冬は群れて移動します。

● ヒヨドリ

全長28cmくらいで、全身が灰褐色、長めの尾を持っています。低地から山地の林や、市街地でも1年中見られます。

● ジョウビタキ

全長14cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたりに白い斑紋があります。本州では冬に見られます。

● ツグミ

冬鳥として大陸よりわたってくるハト大の鳥です。木の葉や果物などを食べ、春に北へ帰ります。

● ホオジロ

全長17cmくらいで、オスは高い木の上で「チョッピィ、チチュウ、チュチュリチュー」と鳴きます。

● コゲラ

全長15cmくらいの小型のキツツキで、「ギィ、ギィ」と鳴きます。木の皮の下の虫をついて食べます。

● トビ

全長60cmくらいのタカの仲間です。トンビとも呼ばれ、輪を描きながら空高く飛びます。「ヒーヒョロロロ」と鳴きます。

● ニホンカナヘビ

全長20cmくらいで、山地から人家まわりによく見かけられます。小さな虫やクモなどを餌にします。

● シマヘビ

要注意

体色は黄褐色で背中4本の縞があります。気の荒いヘビなので注意が必要です。主にカエルやトカゲを食べます。毒はありません。

● タゴガエル

体長4~5cmくらいのアカガエルの仲間、沢や水の湧き出ししている崖などで卵を産みます。

● シャガ

アヤメの仲間、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4~5月に白色に少し紫がかった花を咲かせます。

● ウラシマソウ

サトイモの仲間、林のまわりや明るい林の中に生えています。4~5月に変わった形の花を咲かせます。花の一部が浦島太郎の釣糸に見えます。

● ムラサキケマン

ケシの仲間、草地や林のまわりで生えています。3~5月に赤紫色の花を咲かせます。

● キランソウ

シソの仲間、道ばたに生えています。3~5月に紫色の花を咲かせます。

しょくぶつ

● ノジスミレ

陽当たりの良い道ばたに生えています。3~4月に紫色や赤紫色の花を咲かせます。

● ヤブミョウガ

ツクサの仲間、林の中にたくさん生えています。8~9月に白い花を咲かせます。

● ナガバナタチツボスミレ

花はうすい赤紫色で、葉はタチツボスミレより細長く三角形になります。

● アリドオシ

小さな木で4~5月に白色の花を咲かせます。アリを突き刺すような細長いとげとか、とげが多く小さなアリしか通れないとかいわれます。

● ツボスミレ

スミレの仲間、4月~5月に白い花を咲かせます。平地から山地にかけて生えています。

● ゴンズイ

秋に葉を落とす大きな木で、5月に緑白色の花を5月に咲かせます。荒れ地や林のまわりに育ちます。

● ヤマユリ

山地にみられるユリの仲間、7~8月に強い大きな白い花を咲かせます。

● ニガナ

キクの仲間、道ばたや畑、人家の庭先、河原などに生えています。5~7月に黄色の花を咲かせます。

メモ



しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

